

新しい

都市計画マスタープラン

集約・連携型都市づくり推進戦略 を策定します

問合せ 都市計画課 ☎55-2786 📠51-0475 📧toshikei@div.city.fuji.shizuoka.jp

都市計画マスタープランとは

おおむね20年後の将来を見据えた長期的な都市づくりの基本的な方針です。

都市計画決定の根拠や都市づくりのガイドラインであることから、市民や事業者の皆さんの生活や仕事などと密接に関係しています。

集約・連携型都市づくり推進戦略とは

主要な都市拠点や生活拠点に商業・医療・公共施設などを集約し、これらの拠点を公共交通により効率的に連携する都市づくりを目指すもので、都市計画マスタープランの具現化版となる計画です。

①市街化区域において主に都市機能や居住を誘導する区域を定めた立地適正化計画、②市街化調整区域における土地利用方針の2本立てで構成しています。

新たな計画策定の背景

◆人口減少社会の課題に対応する集約・連携型都市づくりの推進

ほかの地方都市と同様に、この10年間、富士市も人口減少の状況は変わっていません。生活の質を落とさず、利便性を維持・向上させるために引き続き、集約・連携型都市づくりを推進する必要があります。

◆社会・経済情勢の変化への対応

新型コロナウイルス感染症による市民のライフスタイルの変化や、近年、激甚化・頻発化する自然災害などに対応した計画とする必要があります。

策定に当たって重視した点

土地利用

▼都市機能と居住の適切な誘導による秩序ある良好な市街地の形成 など

都市交通

▼誰もが安全・安心・快適に利用できる公共交通環境の創出 など

都市環境

▼自然環境と調和・共生した都市環境の維持・創出 など

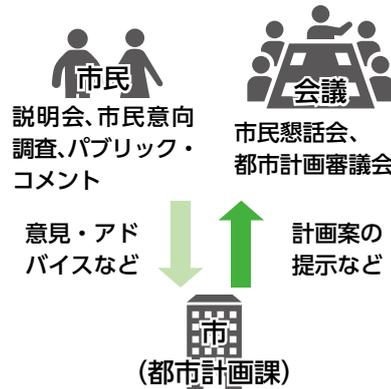
都市防災

▼防災・減災の観点からの災害に強い都市づくりの形成 など

都市景観

▼富士山の眺望を守り、活かす、本市の魅力を高める景観形成 など

策定体制のイメージ



～計画案に関する説明会を開催します～

とき	ところ	対象地区
8月22日(火)	岩松まちづくりセンター	岩松・岩松北・富士川・松野
8月25日(金)	吉永まちづくりセンター	吉永・元吉原・須津・浮島・原田
8月28日(月)	大淵まちづくりセンター	富士見台・神戸・吉永北・大淵
8月31日(木)	伝法まちづくりセンター	吉原・伝法・今泉・青葉台
9月5日(火)	鷹岡まちづくりセンター	鷹岡・広見・天間・丘
9月11日(月)	富士駅南まちづくりセンター	富士駅北・富士北・富士駅南・田子浦・富士南
9月21日(木)	市役所6階第一・第二会議室	全地区

※開始時間は、全て19時からです。
※説明会は事前申込制です。市ウェブサイトで電子申請するか、電話またはEメールで、都市計画課へ。
▲事前申込はこちら

